

尿道留置カテーテル挿入・管理

尿道留置カテーテル挿入（管理）により以下のような合併症（併発症）を起こす可能性があります、まれに合併症に対する治療を行うことがあります。これらの合併症が生じた場合は最善の処置を行います。

1. 感染症

カテーテルを挿入した部位から細菌が入り、感染を引き起こすことがあります。

2. 尿道損傷・尿道狭窄

尿道内にカテーテルを挿入する際、出血や炎症が起こり、後で尿道が狭くなる場合があります。

3. 膀胱刺激症状

カテーテルの刺激によって下腹部の張りや痛み、排尿したい感覚が続いてしまうなどの症状があります。

その他、尿漏れ、カテーテル接触部位やテープ固定している部位に皮膚障害などが発生する場合があります。